

令和3年度第3回島根支部評議会議事概要報告

開 催 日	令和4年1月18日（火）14：00～16：00
開 催 場 所	サンラポーむらくも 2階 祥雲
出 席 者	伊中評議員、梶谷評議員、葛西評議員、鷗鷯評議員、塩飽評議員 光延評議員（議長）、宮本評議員 （五十音順）
議 題	1. 令和4年度保険料率について 2. インセンティブ制度について 3. 令和4年度事業計画等について
議 事 概 要 （主な意見等）	<p>【議題1】 令和4年度保険料率について 事務局より資料に基づき説明。</p> <p>《主な意見》</p> <p>【学識経験者】 健康保険料率0.32%の引き上げとは、加入者にとってどの程度の負担増となるのか。</p> <p>【事務局】 標準報酬月額30万円の被保険者の場合、労使折半後の負担額は月額480円増加する。なお、40歳以上65歳未満の介護保険加入者の場合は、介護保険料率が0.16%引き下げとなるので、健康保険料と介護保険料の労使折半後の負担額は月額240円増加する。</p> <p>【学識経験者】 島根県はコロナ感染症の予防対策をしっかりと取り組み医療への影響を頑張って抑えた。その結果、医療費の減少が少なかったことを理由に保険料率が上がることに理解できない。数年間を平準化して保険料率が下がるのであれば理解できる。</p> <p>【学識経験者】 令和4年度収支見込によると、今年度よりも収支ともに減少するが、支出の減少幅が大きく準備金はさらに積み上がるとされており、保険料率の引き上げには疑問が残る。</p> <p>【事業主代表】</p>

島根県においては、最低賃金が大幅に引き上げられ、従業員の給料が上がる中、保険料率の引き上げは、地方の企業にとっては、大きな負担増となり厳しい。

【事業主代表】

令和2年度の支出の医療費の減少は、どのような要因か教示いただきたい。

【事務局】

新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に受診控えの傾向があった。特に都市部では受診控えの傾向が強く、医療費の減少が顕著であった。一方、島根支部においても、医療費は減少したが、全国と比べると減少幅は小さかった。

【被保険者代表】

新型コロナウイルス感染症の終息後には、保険料率がさらに引き上がる可能性はあるということか。

【事務局】

可能性はあるが、保険料率は島根支部の医療費や加入者数の推移等だけではなく、全国平均との相対的要因を含むため、現時点では何ともいえない。

【学識経験者】

準備金の加入者への還元はもっともである。努力して積み上げたものが使えないことは納得性に欠ける。

【事業主代表】

準備金の当期末処理損失のてん補に充てる以外の活用には、省令改正が必要ということであれば、雁字搦めで議論する意味がない。

【事業主代表】

法治国家の根源は国民に不利益があれば、改正するものである。準備金は加入者や事業主のこれまでの努力によって積み上がったもので、還元するのは当たり前である。そのために省令改正が必要であれば国への働きかけをしていただきたい。これを訴えるために評議員がいると思っている。

(支部長)

率直なご意見をいただいた。準備金については、全国健康保険協会の財務及び会計に関する省令第26条第3号を改正しない限り、赤字になるまで取り崩せない。現在4兆円以上積み上げている準備金をどうするのか、省令改正の要望を含めて支部長意見として本部に提出したい。

【議題 2】 インセンティブ制度について

事務局より資料に基づき説明。

《主な意見》

【学識経験者】

評価指標が変更されたことで、島根支部にはどう影響するのか。

【事務局】

今回の変更で、伸び率の配点を高めた項目がある。すでに高い数値の項目は、伸び幅がない分伸び率の評価を受けにくくなる。ただし、全国 47 支部を相対的に評価するため、現時点ではこの評価基準の変更が、島根支部にとってどう影響するかは不明である。

【事業主代表】

今回の変更は、特定健診に重点を置いているようだが、協会けんぽとして今後注力するということか。

【事務局】

そのとおり。健診受診率向上や重症化予防等を強化する。

【被保険者代表】

保険料率に与えるインセンティブ制度の寄与度が低いと感じている。加入者が自発的に取り組むためにインセンティブ制度分の保険料率のインパクトを強めるべきではないか。

【議題 3】 令和 4 年度事業計画等について

事務局より資料に基づき説明。

《主な意見》

【学識経験者】

事業計画のデータ分析について、医療給付費の増加要因には、中高年層の給付費の増加があげられるが、年齢階層別医療費分析を行う予定はあるのか。

【事務局】

地域における医療費の特徴についての分析を予定しているが、医療費のどこに焦点をあてるか決まっていない。

特 記 事 項	
<ul style="list-style-type: none">・ 傍聴者：山陰中央新報社（マスコミ）・ 次回開催：令和 4 年 7 月予定	